鵠沼、

碧波ヲ距テヽ綠翠

島ノ噴煙、

「亡ビ行ク」

トハ

外ニハアルマイ

ceae ニ包含サルベキモノデアラウト云フコトヲ附言シテ置 トニシタ、只最後ニコノ科ハCephalotaxusヨリモ寧ロTaxusニ近ク從ッテ他ノ科ヲモ考慮スルナラバ或ハTaxa-タイト思ッテヰタガ已ニ第二項ニ記シタ記載デ自ラ明デモアリ、又紙面モ餘リナイノデ後ニ讓リ今度ハ省クコ Ŧ 記 ₹⁄ テ 來 ヌ ガ 尙 コ 科 ŀ 他 科 ŀ 雌 花 雄花 = 就キ各々比較シテ Amentotaxaceae 新 設 理 由 ŀ 3/

最後ニ本調査ニ當リ少ナカラザル材料ト便宜ヲ賜ハリタル金平博 高市兩氏ニ深厚ナル謝意ヲ表スルモノデアル (完 士 牧野博· 士 佐々木 舜 氏並ニ 江.

〇亡ビ行ク湘南ノ鵠沼片瀨ヲ弔フ

Ħ

內 淸 孝

久

開發ヲ以テシ、貴顯ノ 邸宅別莊ノ 造營相次グノ盛況ヲ.見ルニ至リ 今後更ニ一層殷ナルモ 眞鶴岬ノ斗出ヲ指呼ノ間ニ望見シ得ル湘南ノ鵠沼、 何故ナリャト問フ 粹客ハ多カラント 雖モ之ヲ弔フモノハ往時ノ鵠沼、 ノ孤島江ノ島ト相對シ更ニ遙ニ富嶽ヲ盟主トスル駿、豆、 片瀬ガ小田急電車支線ノ延設 相、 甲連 Щ 片瀬ヲ低囘スル吾人 ノ 展 三伴 望ヲ擅 ノアラント と開 マニ 一般ニ亞 ス ୬ ` ŗ グ

知リテ自然 吾人ハ好ンデ奇説ヲ唱ヘントスルノデハナイ、 片瀨ノ爲メ一言ノ弔辭ノ胸裏ニ湧出シ來ルヲ禁ジ得ザルノデアル、嗚呼悲哉 ノ征服者デアリ破壞者デアル文化人ニ接シタル今日ノ鵠沼、 ・タい過去ノ、自然ノ、 人類ノ魔手ニ黷サレ 片瀬ヲ見ルト キ吾人ハ亡ビ行ク自然 ザ ŋ シ鵠 沼 片瀨 ヲ

想起スレバ昔日ニ於ケル 適地 デアッタ、 サレバみしかきぐさ、 鵠沼 ヤ片瀬ハ 吾等同! むらさきみしかきぐさ、ほざきのみしかきぐさ、いぬせんぶり、ご 好 ノ好採集地 デアッタ、好個 ノ濕砂原デアッタ、 吾人こ否、

行

湘

南

鵠

沼

瀬

弔

テ 野 泯 博 滅 士: 小 ₹ ハ 地 曾 タ 點 め たで、 テ 此 在 . シ ボ 處 哑 悲 = やなぎぬ Z 哉 タニ 12 ス か ŀ ヲ ぼ 檢 ナ H ١, ₹⁄ 此 1 行 處 此 樂 = 處 は = = 生 まかきうん 適 育 3/ 池 3/ 畔 H k 溝 是 ヲ 命 渠 好 名 1 H + ŀ **≥**⁄ 手 樂 タ ノデ = 2 ハベ デ 居 7 h n タ ガ H 今 ∇ 7 蟹 タ 此 1 横 行 女 減 ス 0 iv 炒 ヤ ₃⁄ 或 ガ 柳 見 忽 ェ 間 タ 仁 ゝ

同 故 Æ 鄉 論 時 = ナ 和 n ダ 'n テ ヲ 此 六 獨 近 此 等 年 力 等 時 IJ 秋 茅花 數 之 居 植 植 九 リヲ ヲ 物 月 物 ヲ 4 見 失 見 ヲ ヲ 余 ハ 1 繁殖 記 ザ Ŀ 此 見 **ハ** 有 念 N タ 地 タ ~~ = jν 3/ 3/ タ 志 タ 至 特 更 其 ヲ テ ŀ イ ッ 想 產 彼 Ξ 中 此 タ 等 フ デ 二 ノ 1 デ ŀ 智 何 思 = ٠, ア ナ 代 最 キ 心 Ŀ タ 吾 イ ŀ. ナ 出 jν V • 減 人 jν 級 7 多 少 希 邦 = 嬉 ハ キ **≥**⁄ 內 接 技 刀 曾 Þ タ 掬 ハ ヲ **୬**⁄ = ŀ 遊 前 植 通 吾 3 **୬**⁄ ノ 記 物 淚 人 IJ テ 地 ジ 諸 成 談 ナ テ ハ = 種 茅花 靈 キ 各 就笑 來 ヲ ヲ 地 來 セ ス IJ 記 得 IJ 秀 jν 蜒 = jν 錄 排 老 之 ナ 絕 テ Þ 若 ୬ ヲ ィ 奇草 無 水 タ テ 獿 Ï 1 男女 jν デ 幾 デ 事 電 ケ ハ 星 ア ナ ヲ 鐵 霜 完 睹 1 jν 1 ノ 成 後 線 感 タ サ ヲ 深 路 = 由 見 テ 然 於 V ヲ キ 余 シ ۲, ケ 9, 見 モ テ jν 人 ハ 文 鐵 其 此 同 サ ガ 路 處 ノ 好 v ŀ. P = 發 ኑ* = ヲ ッ 往 達 此 並 去 タ 置 時 = 處 行 來 伴 土 嗚 3/ ス 主 產 邷 テ ۲ ハ n 悲 昔 設 要 彼 高 ŀ ス ナ 等 H ケ 速 ラ jν 度 w ガ 1 Æ 其 珍 レフ ŀ

ŀ ケ jν 來 = ヌ バ ナ **୬**⁄ 自 力 jν T デ jν カ モ ラ 斯 ア デ 滿 ラ ア 如 ゥ ラ 足 出 + ゥ 道義 來 然 ガ ナ **≥**⁄ 此 等 ィ 心 テ 行 不 ハ ~~ 幸 爲 義 タ 之 務 ナ 的 ヲ 地 記 デ = ア 生 行 錄 フ ス ジ 德 テ jν 亡 = F. デ ŀ 行 ハ 單 ナ ク = 植 學 物 强 術 ヲ 今 ラ 上 V 大 = テ 切 **≥**⁄ 爲 デ テ 記 ス r 行 jν 錄 爲 11 3/ デ 置 力 IJ 力 ナ デ # オ ナ 1 ハ 實 德 徒 義 = Х 上 悔 間 力 ヲ ラ 永 ŀ **≥**⁄ モ 八 テ 大 = 切殘

ス

ナ r = 出 邦

尙

內

各

地

ノ

發

展

結

果

ŀ

≥⁄

テ

鵠

沼

瀨

)

現

釈

=

類

セ

jν

1

Æ

ハ

+

指

勿論

百

指

ヲ

以

テ

୬

テ

Æ

勝

テ

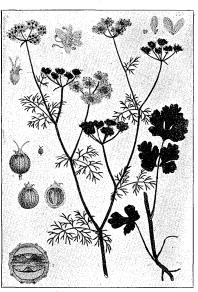
數

フ

w

 $\dot{=}$

jν ガ 理 デ ス ナ 下 行 鄓 タ 名 動 譽 機 ノ 力 ラ デ ナ 利 刀 害 關 間 係 本 タ 來 メ 1 心 爲 力 ス ラ = 必 ŀ 然 ハ 世 的 間 = 湧 = 出 ハ 甚 ス 多 iv 行 ク 其 爲 (價值 ŀ **୬**⁄ テ亡ビ カラ言 行 \sim バ 刀 糞 植 王 物 ヲ 1 記 如 錄 + 屯 テ 置 デ キ T



こえんどろ

Coriandrum sativum L. £" Ø ん

(Anethum graveolens L.)

天下 外來植物 ィ 言希望ヲ開陳シテ置ク デ 多 同 r ノあめんどう、

まるめろ、

ぼうぶうガ ラ 亡 好

۳, 贀

行ク植物 ガ

、過去帳"

ガ出來上ラ jν ガ 其 內

ŀ

ヲ 希

フモ 同 感

今亡ビ行ク湘

南 然

小地點ヲ弔ニ

フ = 余

ŀ

君子 Æ 鮮

ク ア

~

シ 小 テ

高

昭和六年冬十二月記ス

如

=

三ノ外來植物名ノ語原

横濱市平安堂主人 淸 水 藤 太 鄎

語デへんるうだ、らへんでる、 ちれいふ、 さふらん

ポ

jν ŀ

ガ

jν